

北陸支部報

2014/1/10
第 2号



海王丸パークにて（射水市）

目次

年頭のご挨拶	鹿田正昭……………	2
年頭ごあいさつ	益子 栄……………	3
「北陸支部役員会」開催……………		4
講習会開催報告……………		4
行事等の報告……………		5
会員の状況……………		7
平成 26 年度 北陸支部講習会開催計画……………		7
測量CPDが技術評価の対象に—関東地方整備局—……………		8
国土交通大臣賞受賞……………		8
「ジオメトリストの会」発足へ……………		8
編集後記……………		9



公益社団法人

日本測量協会

北陸支部



年頭のご挨拶

(公社) 日本測量協会北陸支部長

鹿田 正昭

新年明けまして、おめでとうございます。

平成 26 年 (2014 年) の年頭にあたり、皆様とともに謹んで新春をお祝いいたします。

日本測量協会北陸支部の皆様方には平素から測量系を含む地理空間情報を中心として、多くのご支援とご協力を賜っておりますことに対し心より御礼を申し上げます。

さて、昨年は当協会が公益社団法人として新たに出発した記念の年となりました。村井俊治会長は公益社団法人日本測量協会としてのスタートを切るにあたり、ホームページにご挨拶を掲載されましたが、その要点は次のようなことかと思えます。

「日本測量協会は一言で言えば、「地理空間情報の高度利用」を推進するための公益事業をする団体であり、第一に会員を増強すること、第二に測量機器および測量成果の品質維持・向上に不可欠な「検定」を誠実に実施すること、第三に人材育成をすること」と述べられています。60 年以上にわたる歴史を持つ日本測量協会は今後も測量技術の普及発達と測量技術者の社会的地位向上に努めなければならないと感じる次第です。

公益社団法人となったことにより、支部活動の体系も大きく様変わりしました。これまでは支部独自に年 1 回の総会をおこない、業務報告や特別講演会、それに引き続いての懇談会を開催してきました。公益社団法人の定款では支部総会は開催されず、業務報告会という名称になっています。

そこで、昨年の業務報告会および支部役員会で北陸支部長として以下の提案をさせていただきました。それは、支部活動の活性化を図るとともに、村井会長が協会の第三の使命として掲げられた人材育成、つまり、若い技術者の方々に発表の機会を持ってもらい、自己研鑽に努めていただきたいと考えたからであります。「発表」や「論文」と銘打つと、学会発表や学術雑誌のように敷居が高いように勘違いされるかもしれませんが、本部が昨年開始した「空間情報技術事例報告集」の投稿指針に則った支部版との位置付けを考えています。空間情報技術事例報告集では新規性や独創性よりも日頃の業務の中での創意工夫、実用性、信頼性などに軸足を置いた技術事例報告を目指しています。

北陸支部では「北陸支部空間情報技術事例発表会 (仮称)」を年に少なくとも 1 回開催し、若手技術者に上述の目的で発表をしていただき、ひいては本部が募集する空間情報技術事例報告集への投稿の端緒とすることを目標としています。また、これまでは富山のみで開催していた総会 (今後は業務報告会) を新潟、富山、石川、福井での持ち回りとし、各地区の活性化を図りたいと考えています。以上のように、本年は色々と新しい取り組みがなされますので、会員の皆様方のご支援をよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、日本測量協会および北陸支部の益々の発展と会員皆様方のご健勝とご活躍、さらにご家族の皆様のご多幸を祈念して、年頭のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

金沢工業大学環境・建築学部
環境土木工学科 教授



年頭ごあいさつ

国土地理院北陸地方測量部長

益子 栄

平成 26 年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
公益社団法人日本測量協会北陸支部ならびに会員の皆様方には、平素より国土地理院の測量業務や測量行政に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年、新たに公共測量に使用する二つの作業マニュアル（案）が策定されました。それは国土地理院が平成 23 年度及び 24 年度に実施した基準点等の利用者ニーズ調査の結果を受け対処したもので、全地球航法衛星システム（GNSS）と電子基準点を活用して測量業務の効率化・低コスト化を実現するものです。一つは、既設の水準点が作業現地の近傍にない場合、遠方の水準点から多大な時間と経費をかけて水準測量を行っている現状を改善するためのもので、GNSS を利用して必要な場所に簡便に水準点が設置できるようになりました。もう一つは、電子基準点から直接設置できる基準点が 1 級に限定されている現状を見直して、2 級基準点を直接設置できるようになりました。これらは今年の 4 月から公表されており、従来の測量方式と比較して大幅な作業期間の短縮及び作業経費の軽減ができるものと期待されております。皆様方には、国土地理院のこれらの取り組みを積極的に活用していただき、測量業界全体の更なる発展に一層寄与されますようよろしくお願いいたします。

国土地理院では、現下の厳しい経済社会情勢の中、利用者に価値ある利用しやすい地理空間情報を整備・提供すること等を通して、国民生活の向上及び国民経済の健全な発展に貢献することを目指し様々な施策を展開しています。現在、平成 24 年 3 月に閣議決定された「地理空間情報活用推進基本計画」に基づき、基礎的な地理空間情報の整備・更新・提供、地理空間情報の活用促進に関する産学官連携の強化、災害への取り組み強化等に積極的に取り組んでいるところです。

その取り組みの一例として、簡単に地理空間情報を利用できるサイトとして「地理院地図」をネット上で公開しております。このサイトでは国土地理院が提供する各種の地図や空中写真にユーザーデータ（位置情報を付加した写真等）の重ね合わせ表示ができ、作図、印刷（A3 まで）などの機能を備えています。是非皆様、一度試されてみてはいかがでしょうか。

北陸地方測量部としましては、今年も引き続き測量法及び地理空間情報活用推進基本法を軸にした取り組みを進めていくとともに、業界、学界、国・地方公共団体と連携しながら測量行政機関としての役割を果たしていきたいと考えております。

最後になりましたが、公益社団法人日本測量協会北陸支部の益々のご発展と、会員の皆様方のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

「北陸支部役員会」開催

今年度2回目となる北陸支部役員会を、12月3日（火）富山市の「ホテルグランテラス富山」で開催しました。

この役員会は、平成25年度北陸支部の事業等の中間報告として行われているもので、事務局から講習会の実施状況や各種事業の報告或いは平成26年度の事業計画（主に講習会開催計画）について説明を行いました。

この他、5月の役員会或いは業務報告会で検討課題とされた業務報告会の開催地の件及び北陸支部空間情報技術事例発表会（仮称）について、議題に上げて検討しました。この結果、平成26年から業務報告会は各県持ち回りで開催していくこと、平成26年は新潟県で開催することとし、その後富山県、石川県、福井県の順で開催することになりました。

また、北陸支部空間情報技術事例発表会（仮称）は、業務報告会に併せて各県測量設計業協会のご協力のもとで開催することとし、要綱を1月に取りまとめ発表者の募集、3月末に発表者の把握、5月末までに発表の概要の提出という大まかなスケジュールが話し合われました。役員からは、発表内容や対象年齢等について、ハードルを高くしないで欲しいとの意見が出されました。今後、役員会で出された意見、要望を踏まえて要綱（案）を策定し、再度役員の皆さんの意見等を伺うこととしております。平成26年は、7月中旬頃に開催を予定していますので、新潟県内の皆さん積極的に応募されますようよろしくお願いいたします。

講習会開催報告（平成25年7月1日～12月31日開催分）

平成25年度の講習会は、3月の測量士補答案練習セミナー(Web)を残して、今年度計画されている講習会は全て終了しました。一部本部主催の講習会が中止にはなりましたが、全体として新潟県内での講習会が好調で、当初予定数を上回る受講者数となりました。

なお、9月に開催した「地理空間情報技術セミナー」は、一般社団法人福井県測量設計業協会のご協力をいただき、共催で開催することができました。



北陸支部講習会実施状況（下期）

開催日	講習会名	講師	開催場所	受講者
7月2日	路線測量	福島好和	新潟市（新潟テルサ）	35名
7月3日	用地測量	福島好和	同	39名
7月18日 ～24日	基準点測量B課程（基準点測量コース）	高橋保博	三条市（燕三条地場産業振興センター）	21名
8月7日	スペース・サロン@kansai(Web)	西岡陽一 森田真一	富山市（測量会館）	1名
8月29日 ～30日	簡易型技術提案書対策講座	瀬戸島政博 住田英二	長岡市（ハイブ長岡）	22名
9月17日 ～20日	路線測量設計（Ⅱ）Web	高木博康 東田正樹 渡邊 敦	新潟市（技術士センタービル）	8名
9月25日	地理空間情報技術セミナー（会員無料）	瀬戸島政博 白井康友 森 康祐	福井市（市民プラザ）	33名
10月15日 ～16日	測量と地図の中級講座 GNSSによる基準点測量	柴田義冬	富山市（大山地域市民センター）	15名
10月17日 ～18日	測量と地図の中級講座T Sによる基準点測量	柴田義冬	同	6名
11月19日	イブニング・セミナー	竹添明生	富山市（測量会館）	1名
12月4日	スペース・サロン@kansai(Web)	甲斐哲平	富山市（測量会館）	3名

※7月及び10月に開催予定の「環境調査（Ⅰ）（Ⅱ）」(Web)は、受講者が少なく中止。

行事等の報告

○「北陸支部報」刊行

北陸支部では、一昨年まで刊行していた「測標」を一新し、7月10日にWebによる「北陸支部報」を刊行しました。新しい「北陸支部報」は、ペーパーレス化していつでも閲覧可能なように当協会のホームページの測量情報館サイトの「各支部からのお知らせ」欄に掲載してあります。印刷もできますので必要な場合は印刷してご覧ください。当面、年2回を目途に刊行することにしていきますので、ご意見等をお寄せください。
<http://www.jsokuryou.jp/Corner/shibu/shibu.asp>

○「とやまみんなの地図作品展」開催される

11月23日（土）～24日（日）に、とやま地図作品研究会が主催する「第7回とやまみんなの地図作品展」が昨年と同様、富山市婦中町のフューチャーシティ「ファボーレ」の「ときめきの広場」で開催されました。

今年の地図作品展は、応募数が少なく入賞作品 12 点（小学生 11 点、中学生 1 点）の展示となりましたが、それでも会場が大規模ショッピングモール内とあって多くの買い物客が足を止めて子供達の地図作品に見入っていました。

また、開催に合わせて 23 日には、入賞者の表彰式を同ショッピングセンターの研修室で実施しました。子供の作品が表彰されるとあって、ご両親や祖父母も参列され、大変お喜びの様子でした。



展示会場の様子



書品を受け取る受賞者



受賞者の皆さん

★《速報》全国展で審査員特別賞を受賞

1月11日（土）から2月23日（日）まで、つくば市にある「地図と測量の科学」（国土地理院）で開催される「第17回全国児童生徒地図優秀作品展」に、とやま地図作品研究会の入賞作品の中から8点出展しました。

その中で、とやま地図作品研究会会長賞を受賞し、国土交通大臣賞、文部科学大臣賞候補作品に選出した野崎愛加利（富山市立芝園小学校1年）さんの『「しばぞのこうか」わたしのまちたんけんマップカルタ』が、12月18日に国土地理院で開催された選考会において、惜しくも大臣賞には届きませんでしたが「審査員特別賞」を受賞しました。

当研究会が推薦した大臣賞候補作品が全国展で入賞したのは、研究会を設立して5年目で初めてとなりました。



「審査員特別賞」受賞作品

平成 25 年度 会員の状況

平成 25 年 12 月 31 日現在

会員種別	25/4/1 現在	25/12/31 現在	新潟県	富山県	石川県	福井県
正 会 員	457 名	485 名	235 名	103 名	85 名	62 名
準 会 員	1 名	1 名	0 名	0 名	1 名	0 名
特別会員	174 社	178 社	80 社	43 社	35 社	20 社
計	632 名社	664 名社	315 名社	146 名社	121 名社	82 名社

平成 26 年度 北陸支部講習会開催計画

平成 26 年度に北陸管内で開催する講習会を、次のとおり計画しましたのでお知らせします。 注) 開催地、時期等は変更になる場合がありますので、ご注意ください。

【支部主催】

講 習 会 名	開催予定地	予定時期	講 師
測量・地図の基礎講座 測量数学・誤差学の基礎 (Web)	富山市	4 月 (1 日間)	本部
測量士答案練習セミナー (Web)	富山市	4 月 (4 日間)	本部
G N S S による基準点測量	福井市	5 月 (1 日間)	支部
路線測量 (Web)	富山市	5 月 (1 日間)	協会 OB
用地測量 (Web)	富山市	5 月 (1 日間)	協会 OB
簡易型技術提案書対策講座 (中級編)	新潟市	5 月 (2 日間)	本部・外部
T S による 3, 4 級基準点測量及び水準測量	上越市	6 月 (1 日間)	支部
公共測量成果の取りまとめ	三条市	6 月 (1 日間)	支部
ネットワーク型 R T K による公共測量 (実習有)	新潟市	6 月 (1 日間)	支部
電子成果の作り方	長岡市	7 月 (1 日間)	外部
デジカメを使った写真測量の応用 (中級編)	金沢市	8 月 (2 日間)	本部・外部
測量・地図の中級講座 GNSS による基準点測量 (実習有)	新潟市	9 月 (2 日間)	支部
測量・地図の中級講座 TS による基準点測量 (実習有)	新潟市	9 月 (2 日間)	支部
地理空間情報技術セミナー (会員無料)	富山市	9 月 (1 日間)	本部・支部
測量士補答案練習セミナー (web)	富山市	3 月 (4 日間)	本部

[本部主催]

講習会名	開催予定地	予定時期	講師
河川測量設計（Ⅰコース）（Web）	富山市	4月（5日間）	外部
河川測量設計（Ⅱコース）（Web）	富山市	9月（5日間）	外部
基準点測量B課程（水準測量）（実習有）	富山市	7月（5日間）	本部
防災調査（Ⅰコース）（Web）	富山市	6月（5日間）	外部
防災調査（Ⅱコース）（Web）	富山市	9月（5日間）	外部

測量CPDが技術評価の対象に—関東地方整備局—

関東地方整備局では、平成25年度業務の入札・契約手続き改善の取り組みの中で、評価項目の見直しが行われ、各団体が行っている継続教育（CPD）を評価対象とし、各団体の推奨単位を評価基準とすることにしました。

測量系CPD協議会の測量CPDも同様に測量に限り適用され、平成25年10月1日以降の公示案件より適用になっています。詳しくは、測量系CPD協議会トップページをご覧ください。

国土交通大臣賞を受賞

日本測量協会は情報化月間2013において国土交通大臣賞を受賞し、その表彰式が10月7日に東京千代田区の日本教育会館一ツ橋ホールで開催された13年度情報化月間記念式典で行われました。

当協会は、電子基準点リアルタイムデータの安定した常時配信と質の確保によって、地理空間情報処理の精度向上に貢献し、また、講習会等の開催による人材育成により、地理空間情報活用の推進に寄与したことが評価されたものであります。

「ジオメトリストの会」発足へ

日本測量協会は、12月19日同協会が認定している「地理空間情報専門技術者」の有資格メンバーで構成する「ジオメトリストの会」を発足させるための発起人会を結成し、関東地域の同会が4月1日に発足する運びとなりました。

同会は、地理空間情報技術の更なる発展に貢献するため、技術者相互の情報共有、専門技術力の向上に向けた集団として、企業横断型の役割を果たしていくことを目的に、活動としては、技術発表会と講演会の開催、情報交換、研修会、講習会、出版、提言などの事業を行い、また、最新専門技術を蓄積した測量技術者としての実務能力の向上と社会的認知の向上に向けた活動を展開する。その他、メールマガジン等を通じた最新情報の発信と会員間の情報共有も推進することとしています。

事務局を日本測量協会技術教育部（文京区小石川）に置き、4月に総会を開催して正式に発足し、平成26年4月には全国各支部も発足させることとしています。

